

2 月 22 日 (木) SSH 課題探究 I の研究発表会が行われました。午前の部は、基調講演とポスター発表、午後の部はステージ発表を行い、どのチームも自分の研究成果を堂々と発表していました。第 29,30 号では生徒の様子、感想をお届けします。

◆ SSH 研究発表会 (ポスターの部)

色枠・塗りつぶしは生徒の感想です

SSH 課題探究 I (理数科2年) 全 18 グループと総合的な探究の時間 (総探) 代表 5 グループの合わせて 23 グループがポスター発表を行いました。

★	テーマ	分野
1	ゴーヤーの廃棄部分を有効活用するためには	化学
2	青パパイアの種や皮の美容効果	化学
3	藍の発酵建ての条件による色の変化	化学
4	モコモココロレット～泡の研究～	化学
5	寮の残飯からメタンガスを作る	化学
6	モンパノキに含まれる成分	化学
7	トラス構造について	物理
8	圧電素子による発電	物理
9	水切りの跳ねる回数を増やすには	物理
10	最も転がりやすい構造の条件について	物理
11	来校しない学校紹介	情報
12	2つの回転する図形の交点の軌跡	数学
13	ハクセンシオマネキの巣穴研究	生物
14	盲斑の形や大きさは何に関係があるか	生物
15	港川海岸における貝の分布の主要因の特定	生物
16	グッピーに与えるシロアリの栄養効果	生物
17	雄福川の水質改善	地学
18	沖縄本島における 湧水の水質と地質・土壌との関係 part 3	地学
19	地震に負けない建物の構造！！	総探
20	Bad guyに惚れる心理とは？？	総探
21	沖縄県南部の海岸におけるプラスチックのゴミの調査	総探
22	嘘のない持続可能性	総探
23	糸満に希望のレールを	総探

仮説や考察など順序よく利き手が聞きやすいようにポスター作りが工夫されていて、みやすい発表でした。マスクをつけている影響もあり、声が聞き取りづらかったのが懸念点として挙げられます。また、理系用語などの説明も入れて欲しかったなと感じました。

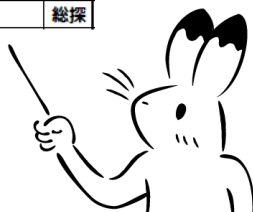
自分が実際に体験した事について調べていたので興味をそそられました。実用化できそうな案もあっていいと思った。調べた研究結果から考察に至るまでのわかりやすい説明があつてよかった。

発表では、基礎的なことをわかっている上で話していたのでそれがわからない私たちにとってはちょっと難しかったです。実験を何回も重ねてより正確な答えを出していて、とてもいいと思いました。展望の課題を達成してよりいい結果を出して欲しいと思います。

何が目的なのか、そのためにどんな実験をするのか、結論はどうなるかがポスターにしっかり書かれているのですごく分かりやすかったし、発表するときにちゃんと聞いている人に目線向け、質問にしっかり答えていてよかった。

日常生活で、無駄に見えるものも工夫して使いたいなど、実験を通してこれからの未来に活かせるような発表ばかりでとても見ていて興味深かった。

木以外の素材で紙を作るとい
う研究はとても面白く利点が多いので良いなと思いました。



どのグループも独特な内容について調べていて、とても面白かったです。盲斑の研究では、結果を元に様々な分類分けをしてそれを検定にかけていて論理的な研究を進めていると思いました。また、図形の軌跡についての研究は授業での数学の範囲を超えて複雑な方程式から軌跡の法則などを求めている印象に残りました。

糸満からモノレールや BRT を通す計画はとても面白いなと思った。モノレールと鉄軌道の予算や仕組みの違いなど分かりやすかった。沖縄の湧水の水質については内容が高度過ぎてきちんと理解できなかったけど、複数の場所から定期的にサンプリングしているのがすごいなと思った。藍染の発色についての発表では糖が発色のしやすさに影響すると言う話を聞いてとても驚いた。

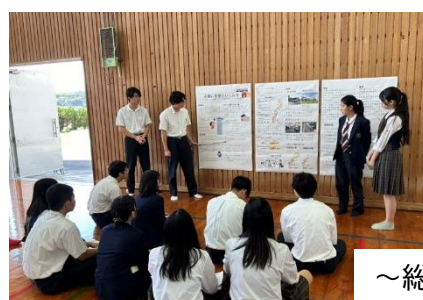
地震に耐えやすい構造の仕組みなどについて知ることが出来て、良かったと思います。また実際に動画などを見たことで分かりやすかったです。



課題探究 I (理数科)



全体の様子



～総探～

